

広島発～

海岸漂着物を 考えるシンポジウム

海岸に流れ着く様々な漂着物。私たちが何もしなければ、漂着物は再び海を漂い、生態系を破壊し、漁獲量の減少さえも招きます。私たちがこれから海ゴミに対し、どう向き合っていくべきか、共に考えるシンポジウムを次の日程で開催します。皆様の参加をお待ちいたします。

日時

平成**27**年**1**月**30**日(金)
13:30～17:00 (開場12:30)

会場

広島国際会議場 地下2階「ダリア」
(広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)

対象

市民、NPO、中間支援組織、港湾関係者、漁業関係者、行政、企業、マスコミ、環境活動団体等

定員 150名 ・ 参加費 無料



13:30～

【開会】

開会挨拶 環境省中国四国地方環境事務所広島事務所長 加藤博己氏

13:40～

【基調講演】

『広島発～海岸漂着ゴミを考える～』

講師：藤枝 繁 氏(鹿児島大学水産学部教授、漂着物学会事務局長)

15:20～

【パネルディスカッション】

《パネリスト》

- 環境省中国四国地方環境事務所 首席廃棄物対策等調査官 中野 正博氏
- 広島県環境県民局循環型社会課 参事 伊豫 浩司氏
- 廿日市市環境産業部 環境担当部長 河崎 浩仁氏
- NPO法人瀬戸内里海振興会 田坂 勝氏
- NPO法人自然環境ネットワークSAREN 理事長 脇山 功氏

《アドバイザー》

- 鹿児島大学水産学部 教授 藤枝 繁氏

《コーディネーター》

- 環境カウンセラーひろしま 事務局長 薦田 直紀氏

参加のお申込みについては裏面をご覧ください。

主催 環境省 中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階 電話:082-511-0720 E-mail:info@epo-cg.jp

後援 広島県、廿日市市、広島商工会議所、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、FMはつかいち76.1MHz、中国新聞社

👤 講師紹介

藤枝 繁 教授 プロフィール

昭和42年 大阪府堺市生まれ
平成3年3月 鹿児島大学水産学部水産専攻科修了
同年4月 熊本県立水産高等学校教諭
平成4年 鹿児島大学水産学部助手
付属練習船かごしま丸、敬天丸航海士を併任
平成12年 同大学准教授
平成22年12月 同大学教授

平成9年(1997年) 日本海でのナホトカ号重油流出事故の災害ボランティアに学生と共に参加して以来、海岸漂着ごみを中心にした海洋ごみに関する研究を開始。

平成11年、市民による国際的な海岸ごみ調査清掃活動である国際海洋クリーンアップ(ICC)の活動を鹿児島でも展開しようと、県内有志で「クリーンアップかごしま事務局」を設立。現在同事務局代表。

一方、シーカヤックのガイドとして鹿児島の海の素晴らしさを広報している。

👤 お申込み・お問い合わせ先

環境省 中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階

下記参加申込書に必要事項明記の上、電話、FAX、電子メール等でお申込みください。

電話：082-511-0720

FAX：082-511-0723

電子メール：info@epo-cg.jp

『広島発～海岸漂着物を考えるシンポジウム』参加申込書

ふりがな		所属	
氏名			
連絡先	電話 ()	FAX ()	
	メールアドレス	@	
年代	10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上		
住所	県	市・郡	
参加動機 (可能ならお答えください)			

※ご記入頂いた個人情報については、本会議に関する連絡及び集計に限って使用し、ご本人の許可なく第三者に提供・公開することはありません。